

# ふらなん

## 妙感寺 Myokanji

第4号



南北朝時代、後醍醐天皇の忠臣、藤原藤房によって創建された妙感寺は藤原終焉の地であり、境内にお墓がある。この藤房が京都の大本山妙心寺の二世微妙大師であることは古くから伝えられており、禅林諸祖伝、妙心寺六祖伝、江戸時代の学僧無著道忠の正法山誌、その他に扶桑隠逸伝、延宝伝燈録等の古書はみなこれに従っている。



### 書状

寛政8年6月15日、権大納言政房の書。書状には妙感寺が先祖藤房の遺跡であり、万里小路家にとって特別に大切なお寺であることが記述されている。



妙感寺に來山のおり、拝塔名簿に記帳される嘉田由紀子滋賀県知事。(平成19年5月20日)



向かって右の本堂は、国登録有形文化財、左側の方丈は愚堂国師が東福門院の水口御殿を闢り寛文元年に移築した由緒をもつ。



毎年9月28日の墓参で、三雲駅前集合した大本山妙心寺僧堂の老師(右から三人目)と雲水一同。

## 湖南省観光物産協会

〒520-3288 湖南省中央一丁目1番地(湖南省産業振興課内) TEL.0748-71-2331

# しょうあいぞ 正藍染め

を体験してみませんか

匠の技

紺喜染織 植西恒夫さん

正藍染は、湖南省下田地域で江戸時代から続いている伝統的な染物です。過去には下田に数軒の紺屋がありましたが、現在は紺喜染織だけが藍の栽培から、発酵、染色、織りに至るまでその伝統を守っています。

紺喜染織では、ハンカチやTシャツなどの絞り染めを体験できます。あなたも絞り染めを楽しみながら、伝統的な染めの奥深さを体験してみませんか。



### 絞り染めの手順



①布に、輪ゴムや糸で絞りをほどこします。絞った部分が白い模様になります。



④これを数回繰り返し、流水で濯ぎます。



②布を水に浸し、藍壺の中へ。



③壺から出し絞り、空気に触れさせると酸化し、藍色に染まります。

完成



⑤オリジナルTシャツ・スカーフの出来上がり!

息子たちはタンクトップとTシャツを、私はスカーフを染めました。布を藍壺の中へいれるとどんどん色が染まって、息子たちは大喜び。出来上がりが待ちどおしかったです。親子で手作りの楽しさを味わえました。また挑戦したいです。

絞り染めを体験した北村ママより一言



藍染め絞り染め展に出品された作品



### 紺喜染織

- 定休日/なし(但し、事前予約必要)
- 営業時間/9:00~16:00まで
- 染色料/半袖Tシャツ2,000円、ハンカチ1,000円(持ち込みの場合)
- 対象/小学校1年生~(小学校低学年は保護者同伴)
- 染められるもの/Tシャツ、のれん、はんかち等 綿・絹・麻いずれも100%の白色の布  
※手法は絞りのみ可、ろうけつ染めは不可
- 駐車場/3台あり(駐車場所は予約時に確認してください)
- 申込方法/電話にて随時受付
- ◆申込・問い合わせ先/紺喜染織(下田1530番地) TEL.0748-75-0128